

南小倉バプテスト教会信仰告白・交読文

わたしたちはイエス・キリストを信じ ともに生きる

イエス・キリストは すべての人の救い  
わたしたちみんなと共におられる  
悲しみの中でも 痛みの中でも  
わたしたちは誰もひとりぼっちではない  
わたしたちは歩む  
この救いから  
この救いと共に  
この救いへと

神さまはみんなをだいじにつくられた  
花も 鳥も 人間も  
海も 大地も 大空も  
生きるに値しないいのちなどない  
わたしたちはともに生きる  
いのちをだいじにして 生きていく

イエス・キリストは 貧しくされた人々と共に生きた  
あのガリラヤで  
傷つけられた人々の味方になった  
いっしょにごはんを食べて  
みんな癒され 赦され 解き放たれた  
イエス・キリストはみんなの力になった  
「イエスさま ありがとう」  
「こちらこそ みんな ありがとう」  
みんなもイエス・キリストの力になった  
神の国がやってきた

イエス・キリストと共に  
みんなのただなかに

イエス・キリストは十字架につけられた  
ひとりひとりの罪と傷を負って  
イエス・キリストは叫んだ  
ひとりひとりの絶望と共に  
イエス・キリストは殺された  
すべての殺された者たちのひとりとして  
イエス・キリストは死んだ  
すべての死者たちに伴った  
十字架のイエス・キリストはわたしたちの救い  
わたしたちみんなの救い

イエス・キリストはよみがえった  
絶望と死に打ち勝ち わたしたちの希望となった  
わたしたちはまた立ち上がる  
倒れても 倒れても  
イエス・キリストと共に  
何度でも  
イエス・キリストは先にガリラヤに行き  
わたしたちを待っておられる  
復活のイエス・キリストはわたしたちの希望  
わたしたちみんなの未来

教会はイエス・キリストのからだ  
福音に基づいて生きる  
わたしたちは救いをあらわす  
この身体で  
わたしたちは神の言<sup>ことば</sup>をわかちあい 主の日の礼拝を守る

信じて歌い 祈る  
わたしたちは主の晩餐<sup>ばんさん</sup>をわかちあい いっしょに食卓を囲む  
イエス・キリストを想起して  
わたしたちはバプテスマを執<sup>と</sup>り行う  
イエス・キリストを信じて共に生きる生の証しとして

わたしたちは希望の網となる  
赦された罪びとたち 伴われた傷たちが  
互いにイエス・キリストの救いによって  
やわらかくつながりあい  
包まれ 守られ  
わたしたちすべてが希望へと捉えられる  
ひとつひとつの網の目は  
ひとりひとりのわたしたち  
ひとつひとつの傷 悲しみ いのち  
イエス・キリストによって見出された世の光  
夜空の星座のように  
つながりあって輝き 希望を物語る

わたしたちは隣人<sup>となりびと</sup>になる  
愛する  
平和をつくりだす  
ともに喜び ともに泣く  
わたしたちはいのちを大切にしあう社会をともに目指す  
絶望と闘う  
敗れても 破れても  
わたしたちは恐れ<sup>おそ</sup>れない 負けない  
イエス・キリストが共におられる

聖霊はわたしたちを励ます

信仰をあらわして生きるように  
違いをもった者どうし  
いっしょに生きていくように  
互いに変わることを恐れず  
対話するように  
わたしたちは聖霊の風に促され  
信じていっしょに生きていく

わたしたちは信仰に基づき 聖書に聴く  
聖書には神の希望の言<sup>ことば</sup>が響き 満ちている  
人間の罪がそのまま表れていても  
わたしたちは聖書と対話する  
現実と関わりながら  
信仰を繰り返し新たにしながら

わたしたちはイエス・キリストに従う  
国家も民族も 政治も経済も  
いかなる権威も権力も その他<sup>ほか</sup>なものも  
わたしたちの主ではない  
主イエスのみに わたしたちは従う

イエス・キリストはまたおいでになる  
その日 わたしたちの目から涙がまったく拭<sup>ぬぐ</sup>い去られる  
その日 平和が訪れ 神の国が実現する  
それはイエス・キリストと共にすでに始まった  
そしてイエス・キリストと共に訪れる

わたしたちは福音を確かめながら歩む  
信じてともに

イエス・キリストの示した未来を目指して  
救いと希望をあらわし わかちあいながら  
ともに生きよう  
イエス・キリストと共に

アーメン